



2024年度第3四半期 決算説明（業績説明）

東ソー株式会社

2025年2月6日

■ 2024年度第3四半期業績

決算概要	4
連結対象会社・主要指標	5
売上高・営業利益分析（セグメント別）	6
業績概要	7
営業外損益及び特別損益等	11
連結貸借対照表	12
連結キャッシュ・フロー計算書	13

■ 2024年度業績予想

業績予想概要	15
売上高・営業利益（セグメント別）	16
連結業績推移	17
配当の状況	18

2024年度第3四半期業績

(単位：億円)

		23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減
売上高		7,479	7,957	478
営業利益		596	746	150
経常利益		687	825	139
親会社株主に帰属する四半期純利益		414	485	72
為替レート	(円/USD)	143.3	152.6	9.3
[TTM期中平均]	(円/EUR)	155.3	164.9	9.6
国産ナフサ	(円/KL)	67,967	76,333	8,366
ベンゼン	(USD/T)	886	979	93
PVC	(USD/T)	785	759	△ 26
VCM	(USD/T)	654	618	△ 36
液体苛性ソーダ	(USD/T)	407	470	63
MDI (モノメリック)	(USD/T)	2,005	1,938	△ 67
MDI (ポリメリック)	(USD/T)	1,666	1,853	187

連結対象会社

(単位：社)

	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減	内訳
連結子会社	93	92	△ 1	+ : トーソー・ベトナム・ポリウレタン Co.,Ltd (ク) - : オルガノエコテクノ (株) (工) 日本海水化工 (株) (他)
持分法会社	14	14	-	
連結対象会社	107	106	△ 1	

ク：クロル・アルカリ エ：エンジニアリング 他：その他

主要指標

(単位：億円)

	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減
設備投資額	443	652	209
減価償却費	314	331	17
研究開発費	163	160	△ 3
有利子負債	1,943	2,111	168
金融収支	5	1	△ 4
自己資本比率 (%)	60.8	61.3	0.5
従業員数 (人)	14,457	14,729	272

(注) 有利子負債にはリース債務を含む

売上高・営業利益分析 - セグメント別

(単位：億円)

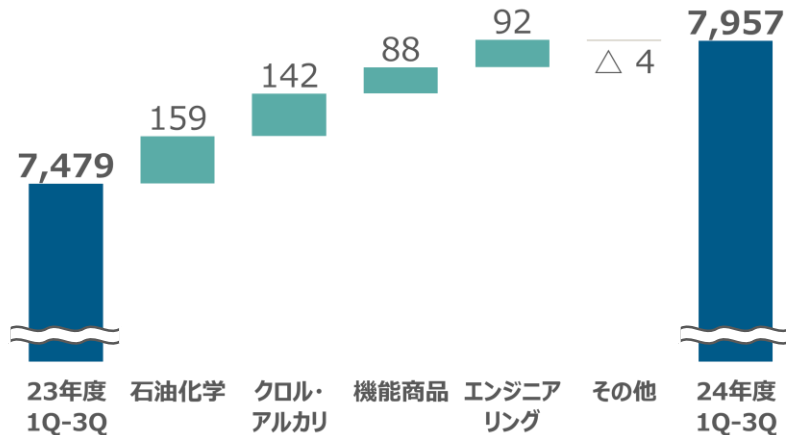
	売上高			増減要因		
	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減	数量差	価格差	うち為替 の影響
石油化学	1,432	1,591	159	27	132	25
クロル・アルカリ	2,646	2,788	142	68	73	104
機能商品	1,944	2,032	88	55	33	123
エンジニアリング	1,107	1,200	92	67	26	26
その他	350	346	△ 4	△ 7	4	0
合計	7,479	7,957	478	210	268	279

(単位：億円)

	営業利益			増減要因		
	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減	数量差	交易 条件	固定費 差他
石油化学	89	124	35	37	7	△ 9
クロル・アルカリ	24	73	49	17	△ 1	33
機能商品	308	313	5	49	5	△ 49
エンジニアリング	155	214	59	59	0	0
その他	20	22	2	2	0	0
合計	596	746	150	164	11	△ 25

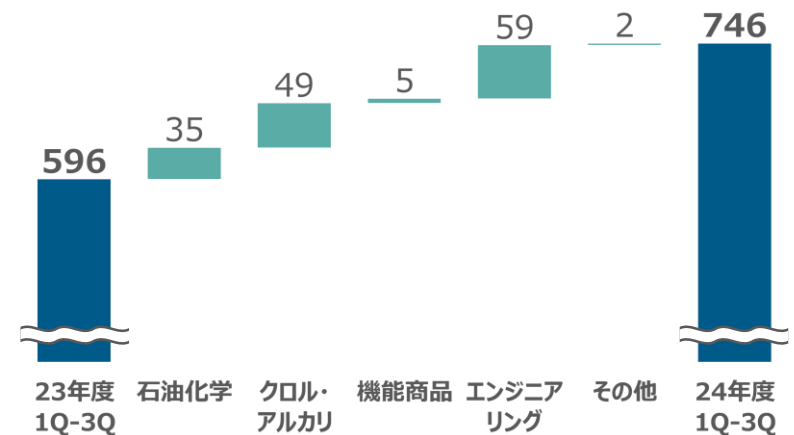
売上高分析

(単位：億円)



営業利益分析

(単位：億円)



業績概要 - 石油化学事業

(単位：億円)

	売上高			増減要因		
	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減	数量差	価格差	うち為替 の影響
オレフィン	855	997	142	28	115	17
ポリマー	577	594	17	0	17	9
合計	1,432	1,591	159	27	132	25

(単位：億円)

	営業利益			増減要因		
	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減	数量差	交易 条件	固定費 差他
石油化学事業	89	124	35	37	7	△ 9

<オレフィン>

- ・エチレンは、前年に四日市事業所プラントのトラブル影響があったことから生産量は増加し、出荷数量が増加
- ・キュメンは、需要減少に伴い出荷数量が減少
- ・エチレン、プロピレンは、ナフサ価格の上昇により販売価格が上昇
- ・キュメンは、為替及び海外市況上昇の影響を受けて販売価格が上昇

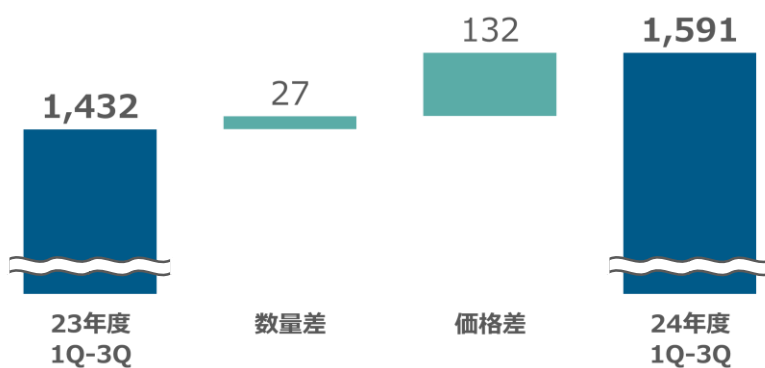
<ポリマー>

- ・ポリエチレン樹脂の内需は、前年同期並みの出荷数量で推移、原料ナフサの上昇による値上げを実施し販売価格が上昇
- ・ポリエチレン樹脂の輸出は、EVA樹脂を中心に海外市況悪化のため出荷数量が減少
- ・クロロプレンゴムは、地域ごとに濃淡はあるものの需要が回復し始めており出荷数量が増加

クロロプレンゴムの販売数量増加やキュメンの交易条件改善等により増益

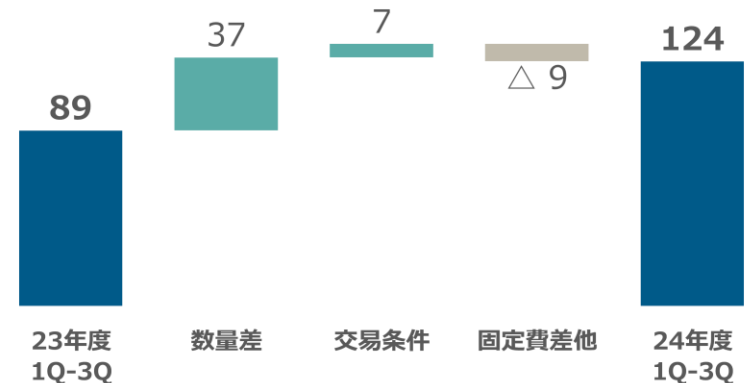
売上高分析

(単位：億円)



営業利益分析

(単位：億円)



業績概要 - クロル・アルカリ事業

(単位：億円)

	売上高			増減要因		
	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減	数量差	価格差	うち為替 の影響
化学品	1,572	1,634	62	51	11	57
ウレタン	990	1,077	87	24	63	47
セメント	84	77	△ 7	△ 6	△ 1	1
合計	2,646	2,788	142	68	73	104

(単位：億円)

	営業利益			増減要因		
	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減	数量差	交易 条件	固定費 差他
クロル・ アルカリ事業	24	73	49	17	△ 1	33

<化学品>

- ・苛性ソーダは、南陽事業所の定期修繕差異に伴う生産量の増加により出荷が増加、海外市況の上昇並びに円安により輸出価格が上昇
- ・VCMは南陽事業所の定期修繕差異に伴う生産量の増加により出荷が増加、海外市況の下落により販売価格が下落
- ・PVCは主に国内出荷が減少、海外市況は下落も円安により販売価格が上昇

<ウレタン>

- ・MDIは、出荷が増加、海外市況の持ち直しと円安により販売価格が上昇
- ・HDI系硬化剤は、世界的な需要低迷を背景に市況が下落し販売数量が減少、販売価格が下落

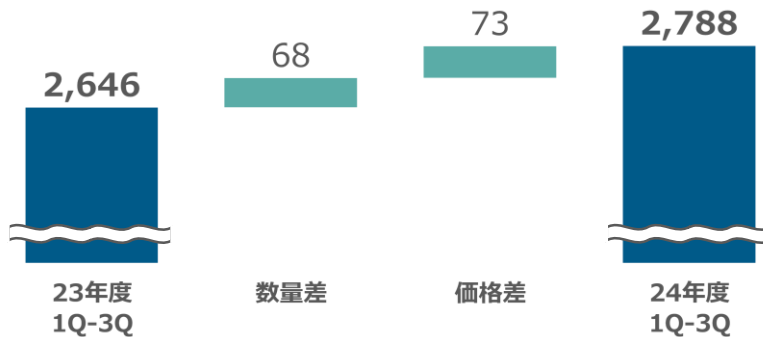
<セメント>

- ・需要低調により出荷が減少

在庫受払差の改善やMDIの販売数量増加等により増益

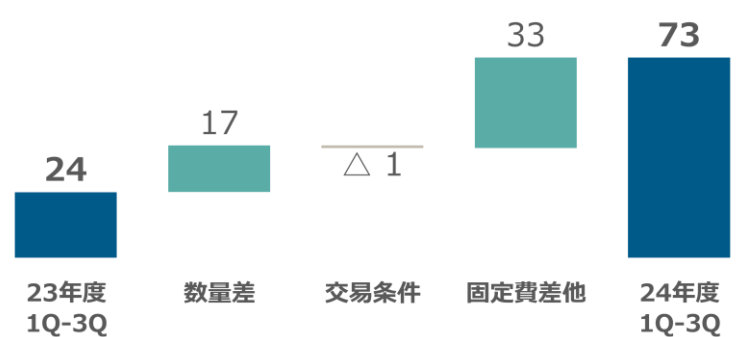
売上高分析

(単位：億円)



営業利益分析

(単位：億円)



(単位：億円)

	売上高			増減要因		
	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減	数量差	価格差	うち為替 の影響
有機化成品	544	559	15	45	△ 30	32
バイオサイエンス	441	513	72	37	35	34
高機能材料	959	960	2	△ 27	29	58
合計	1,944	2,032	88	55	33	123

(単位：億円)

	営業利益			増減要因		
	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減	数量差	交易 条件	固定費 差他
機能商品事業	308	313	5	49	5	△ 49

<有機化成品>

- エチレンアミンは、需要が回復しアジア地域を中心に出荷が増加、海外市況の下落により販売価格が下落

<バイオサイエンス>

- 計測関連商品は、欧米向けで液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が増加
- 診断関連商品は、国内外で自動ヘモグロビン分析装置用の関連試薬の出荷が増加

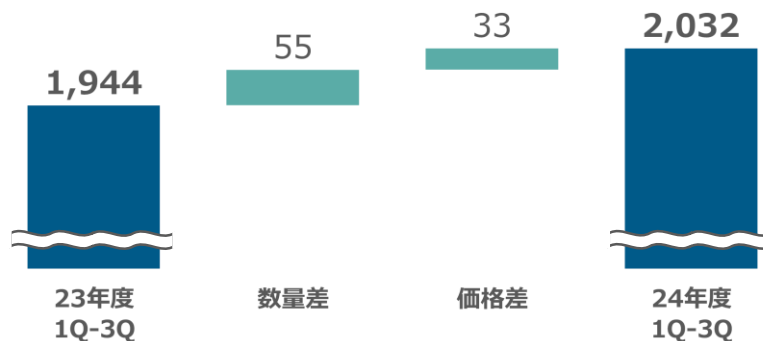
<高機能材料>

- ハイシリカゼオライトは、自動車用途を中心に出荷が減少、構成差等により販売価格が下落
- シリコニアは、装飾用途・歯科用途で出荷が減少、円安により販売価格が上昇
- 石英ガラスは、半導体需要の低調により出荷が減少、円安及び価格是正により販売価格が上昇
- 電解二酸化マンガンは、国内及びアジア地域での出荷が増加

固定費の増加や在庫受払差の悪化はあるものの、計測関連商品や電解二酸化マンガンなどの販売数量増加により増益

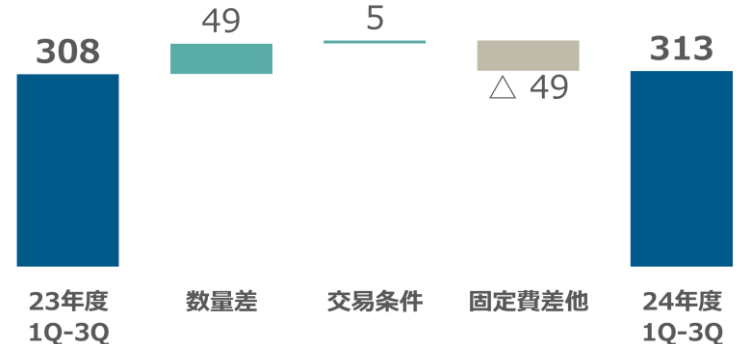
売上高分析

(単位：億円)



営業利益分析

(単位：億円)



業績概要 - エンジニアリング事業 ・ その他事業

(単位：億円)

	売上高			増減要因		
	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減	数量差	価格差	うち為替 の影響
エンジニアリング	1,107	1,200	92	67	26	26
その他	350	346	△ 4	△ 7	4	0
合計	1,457	1,545	89	59	29	26

<エンジニアリング>

- ・水処理エンジニアリング事業は、電子産業分野などを中心に前年までに受注した大型案件の工事が順調に進捗し、設備保有型サービスや各種メンテナンスなどソリューション案件も好調に推移し売上高が増加
- ・その他建設子会社の売上高が減少

<その他>

- ・運送・倉庫・検査・分析、情報処理等その他事業会社の売上高が減少

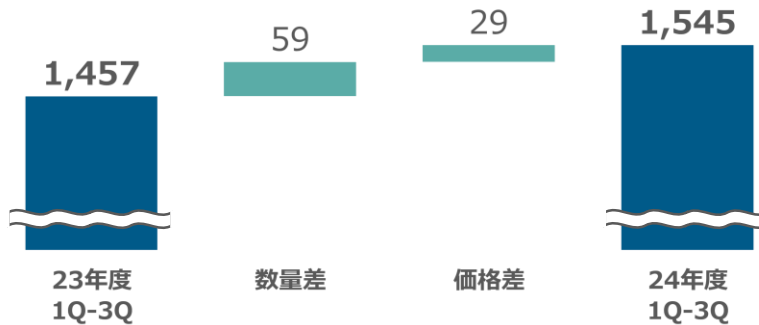
(単位：億円)

	営業利益			増減要因		
	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減	数量差	交易 条件	固定費 差他
エンジニアリング	155	214	59	59	0	0
その他	20	22	2	2	0	0
合計	175	236	61	61	0	0

水処理エンジニアリング事業の売上高増加により増益

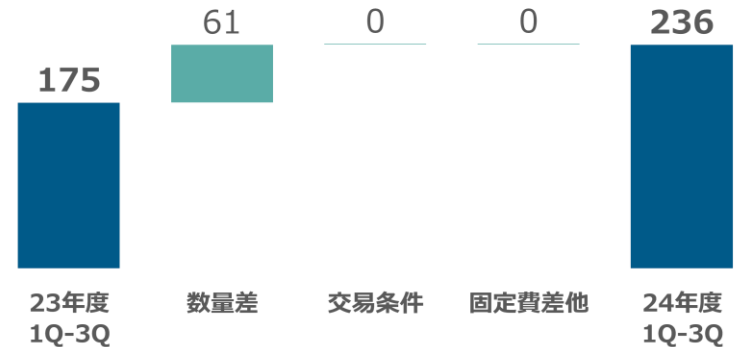
売上高分析

(単位：億円)



営業利益分析

(単位：億円)



営業外損益 及び 特別損益等

(単位：億円)

	23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減
営業利益	596	746	150
金融収支	5	1	△ 4
為替差損益	54	37	△ 18
持分法損益	13	24	11
その他	18	17	△ 1
営業外損益	91	79	△ 12
経常利益	687	825	139
固定資産売却益	1	2	2
固定資産売却損	△ 1	△ 1	0
投資有価証券売却益	2	16	14
固定資産除却損	△ 13	△ 15	△ 2
本社移転費用	△ 3	-	3
その他	0	0	0
特別損益	△ 14	2	16
法人税等	△ 202	△ 264	△ 62
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 57	△ 78	△ 21
親会社株主に帰属する四半期純利益	414	485	72

連結貸借対照表

(単位：億円)

	24年 3月末	24年 12月末	増減
資産	12,899	13,254	355
現金及び預金	1,498	1,339	△ 159
受取手形及び売掛金他	2,948	3,159	211
棚卸資産	2,553	2,459	△ 93
その他流動資産	553	633	80
有形・無形固定資産	3,900	4,229	329
投資有価証券	707	700	△ 8
その他投資等	740	735	△ 5
資産合計	12,899	13,254	355

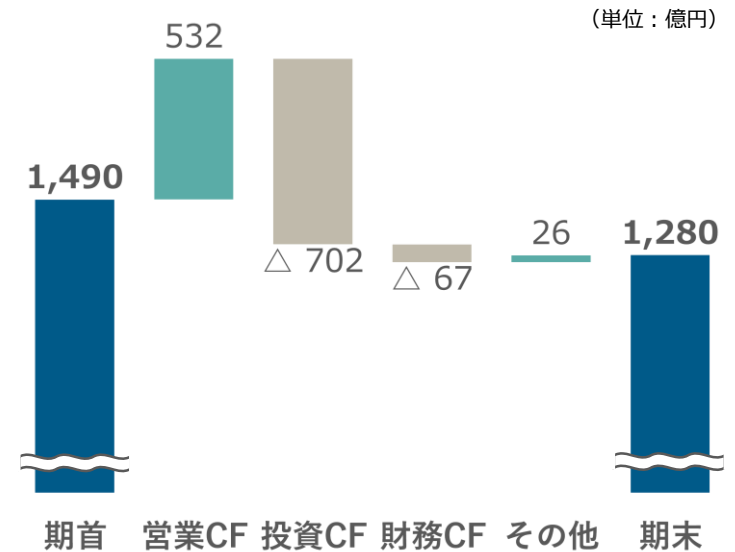
	24年 3月末	24年 12月末	増減
負債	4,312	4,448	137
支払手形及び買掛金	1,221	1,195	△ 27
有利子負債	1,831	2,111	280
引当金他	1,259	1,142	△ 117
純資産	8,588	8,806	218
資本金	552	552	-
資本剰余金	444	443	△ 1
利益剰余金他	6,950	7,127	177
非支配株主持分	642	684	42
負債・純資産合計	12,899	13,254	355

(注) 有利子負債にはリース債務を含む

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

		23年度 1Q-3Q	24年度 1Q-3Q	増減
営業キャッシュ・フロー	税引前四半期純利益	673	827	154
	減価償却費	326	344	18
	法人税等	△ 180	△ 301	△ 121
	その他	△ 23	△ 338	△ 315
	計	796	532	△ 264
投資キャッシュ・フロー		△ 446	△ 702	△ 255
フリー・キャッシュ・フロー		350	△ 169	△ 519
財務キャッシュ・フロー	借入金	54	278	223
	配当金	△ 255	△ 302	△ 48
	その他	△ 25	△ 42	△ 17
	計	△ 225	△ 67	158
現金及び現金同等物に係る換算差額		33	26	△ 7
増減		158	△ 210	△ 368
現金及び現金同等物（期首）		1,194	1,490	295
現金及び現金同等物（期末）		1,352	1,280	△ 72



2024年度業績予想

業績予想概要

(単位：億円)

<参考>

		23年度	24年度 (予想)	増減	24年度 (前回予想※)
売上高		10,056	10,700	644	10,900
営業利益		798	980	182	940
経常利益		959	1,050	91	940
親会社株主に帰属する当期純利益		573	610	37	530
為替レート	(円/USD)	144.6	153.0	8.4	148.9
[TTM期中平均]	(円/EUR)	156.8	163.7	6.9	163.0
国産ナフサ	(円/KL)	69,100	75,500	6,400	74,900
ベンゼン	(USD/T)	914	850~1,050	-	850~1,050
PVC	(USD/T)	777	650~850	-	650~850
VCM	(USD/T)	643	500~700	-	500~700
液体苛性ソーダ	(USD/T)	412	350~550	-	350~550
MDI (モノメリック)	(USD/T)	2,012	1,800~2,000	-	1,800~2,000
MDI (ポリメリック)	(USD/T)	1,668	1,800~2,000	-	1,750~1,950

※24/11/5公表値

- ・ 中国経済の停滞や半導体関連需要の回復が想定よりも遅れていることなどから販売数量が減少し、売上高は前回予想を下回る見込み
- ・ 営業利益は、水処理エンジニアリング事業の好調や在庫受払差の改善などが売上高減少の影響を上回り、前回予想を上回る見込み
- ・ 円安に伴う為替差益により営業外損益が改善し、経常利益及び当期純利益も前回予想を上回る見込み

売上高・営業利益 - セグメント別

(単位：億円)

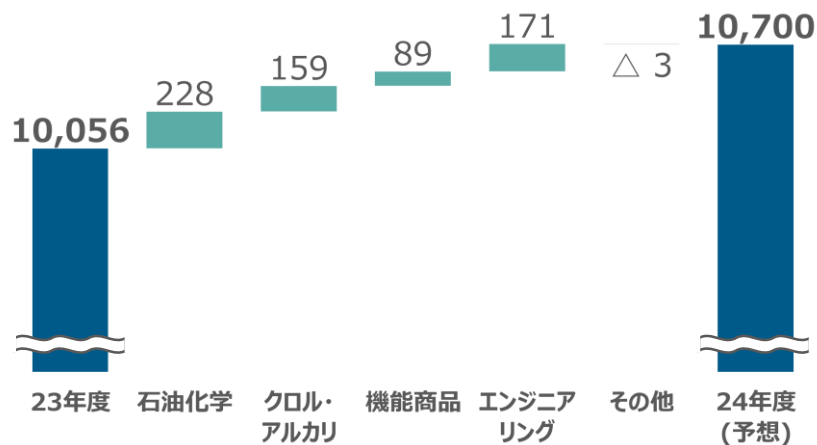
	売上高		
	23年度	24年度 (予想)	増減
石油化学	1,836	2,064	228
クロル・アルカリ	3,595	3,754	159
機能商品	2,596	2,685	89
エンジニアリング	1,570	1,741	171
その他	459	456	△ 3
合計	10,056	10,700	644

(単位：億円)

	営業利益		
	23年度	24年度 (予想)	増減
石油化学	107	147	40
クロル・アルカリ	36	101	65
機能商品	379	374	△ 5
エンジニアリング	247	328	81
その他	29	29	0
合計	798	980	182

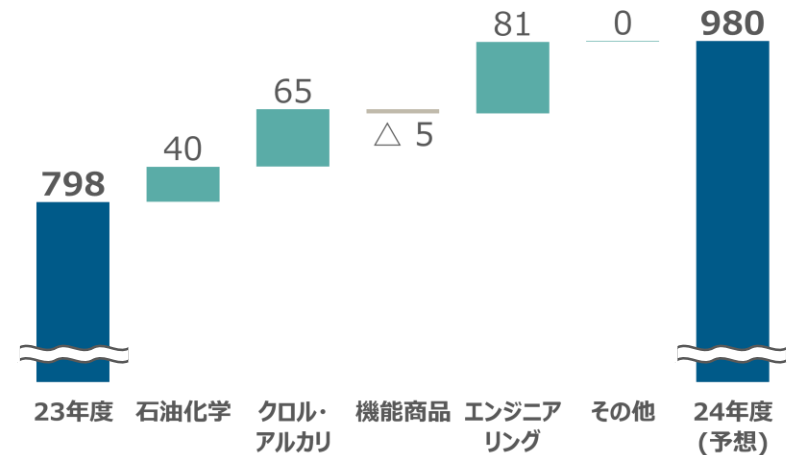
売上高分析

(単位：億円)



営業利益分析

(単位：億円)



(単位：億円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (予想)
売上高		7,329	9,186	10,644	10,056	10,700
営業利益		878	1,440	746	798	980
経常利益		951	1,605	900	959	1,050
親会社株主に帰属する当期純利益		633	1,079	503	573	610
為替レート	(円/USD)	106.1	112.4	135.5	144.6	153.0
[TTM期中平均]	(円/EUR)	123.8	130.6	141.0	156.8	163.7
国産ナフサ	(円/KL)	31,300	56,625	76,625	69,100	75,500
ベンゼン	(USD/T)	520	994	994	914	850~1,050
PVC	(USD/T)	905	1,373	965	777	650~850
VCM	(USD/T)	768	1,208	835	643	500~700
液体苛性ソーダ	(USD/T)	254	515	636	412	350~550
MDI (モノメリック)	(USD/T)	1,925	2,585	2,260	2,012	1,800~2,000
MDI (ポリメリック)	(USD/T)	1,537	2,466	2,074	1,668	1,800~2,000

		22年度	23年度	24年度 (予想)
1株当たり配当金 (円)	中 間	40.00	40.00	50.00
	期 末	40.00	45.00	50.00
	合 計	80.00	85.00	100.00
1株当たり当期純利益 (円)		158.14	180.07	191.55
配当性向 (%)		50.6	47.2	52.2

《注意事項》

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想です。従いまして、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は計画値と大幅に異なる可能性があります。